

私は、小学生の頃から介護士になるのが夢でした。

高校で介護について学び、高齢者施設で実習したことで自分には介護の道に進むことが合っていると感じました。実際に職場見学会で行った社会福祉法人幸生会の高齢者施設を見て、施設内の雰囲気や職員と入居者様との関係がとても暖かく感じ、自分も「この職場で働きたい」と強く思いました。

まだ働き始めたばかりで日々勉強ですが、先輩方のご指導を受け、最近は自分から動けるようになってきました。入居者様の食事介助や排泄・入浴介助などの基本的なケアはもちろん、コミュニケーションの大切さを改めて実感しました。

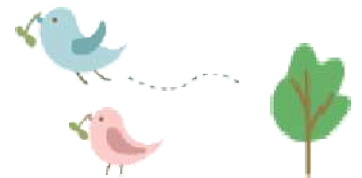
働く前は、基本的なケアなどが出来れば良いと思っていましたが、働き始めてそれだけではないと分かりました。

一人一人の気持ちに寄り添い、それぞれが必要としているケアをしていきたいと思うようになりました。まだまだ一人一人に合ったケアができていないところがあり、自分の力不足を感じることもありますが、入居者様の介助をして笑顔を見ることができた時は「この仕事を選んで良かったと、とてもやりがいを感じます。

今の目標は、「一人一人の気持ちを理解し、入居者様が必要としているケアが出来るようになること」と、「介護福祉士の資格を取得すること」です。今は働き始めたばかりで分からないことだらけですが、1年後、今より介護士としての仕事ができるよう、これから多くの事を学び成長していきたいです。



出身地: 宮城県気仙沼市



出身地: 宮城県栗原市

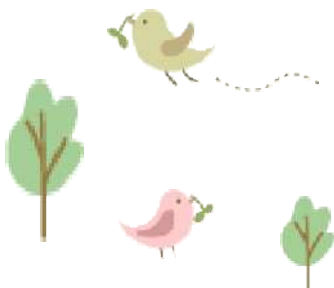


私は幼い頃から介護士になる事が夢でした。入職したての頃はすごく緊張していて、先輩方や入居者様に恐る恐る関わっていました。しかし、先輩方が優しく接してくれてすごくやりやすい環境もつくって頂き、楽しく仕事出来るようになっていきました。とてもにぎやかで楽しい職場です。先輩方も優しく色々なことを教えてくれます。

入職したばかりの頃、なかなか入居者様とコミュニケーションが取れず悩んでいました。そこで先輩に相談し、「コミュニケーションはすごく大切。介助するときは必ず声掛けをして、お互いに何をするのか、何をしたいのか、共通理解することが大事。」と、アドバイスをして頂きました。それからはコミュニケーションを多くとる事を目標に仕事をしてみました。すると、入居者様が何を伝えたいのかがわかり、仕事がやりやすく、楽しくなっていました。

日々の先輩方の関わり方、自分の関わり方から様々を学んでいけると思います。また、仕事以外では、高校を卒業してすぐに一人暮らしを始めました。親元を離れて一人で生活していく大変さをすごく感じ、改めて親のありがたさを感じて一つの社会勉強になりました。休日は職場の先輩方と野球観戦に行ったり、同期の友人とご飯に行ったりして仲を深めています。仕事も休日もとても充実しています。

現在は入職して二年目ですが、まだまだわからない事ばかりなので先輩方に聞いて助けて頂きながら日々頑張っています。今後はもっと職場の雰囲気を良くしていけるよう、より良いケアをしていきたいなと思っています。入居者様との関わりを大切にしながら楽しくにぎやかな職場にしていきたいです。そして、自分の介護技術も向上していけるように努力していきます。





出身地:秋田県湯沢市



高校3年生の夏、進路を決める際に漠然と福祉という職に興味がありました。地元秋田の福祉専門学校に進学しました。専門学校で福祉、特に介護福祉の分野を学ぶうちに漠然とした興味から、職業として高齢者の介護に携わっていきたいと思うようになりました。就職先を決める中で、地元である秋田で就職するか県外へ出て就職するか決めきれずにいました。そんな時に「幸生会」の運営している施設を見学させてもらえる機会がありました。その際に入居者様と関わる職員の方の姿や、施設内の明るい雰囲気を感じ、ここで働いてみようと思いました。

入職したばかりの時は、仕事を覚えることに精一杯なことと、一人暮らしという慣れない環境での生活の大変さもあり、さまざまな事に悩むことが多くありました。そんな時に私を支えてくれたのが職場の先輩方や友達、家族でした。特に仕事面の悩みについては、職場の上司や先輩方、同期がアドバイスや励ましをくれたおかげで、挫折せずに続けていけていたのだと、今振り返るとそう感じます。また、入居者様の感謝の言葉や、喜んだり楽しんでもらえたりする姿にも支えられていたように感じます。

大変なことや、働いてからも学んでいかなければならない事が数多くある職業だとは思いますが、入居者様やそのご家族の方からのねぎらいの言葉や感謝の気持ちなど、その苦勞に見合った喜びが得られる職業であると思います。福祉の職に就くのが目標の方や漠然にでも福祉分野に興味がある方、きっと何かを得られる職場であると思います。ですので、就職先の候補の一つとしてぜひ「幸生会」を検討してみてください。



私はお年寄りとお話するのが好きだったという理由からこの仕事を選びました。学校は地元にある専門学校に通っていて、県外に出るか地元に残るか悩んでいました。

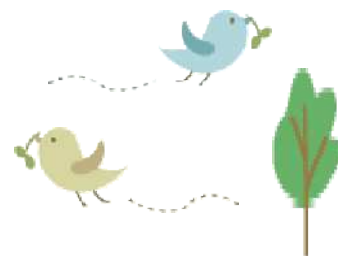
その時に学校の先生から「社会福祉法人 幸生会」を勧められました。それでもまだ決めきれないでいたので実際に施設を見学することにしました。見学先は「特別養護老人ホーム 水泉荘」というところでした。法人の企画する職場見学会もあったのですが、タイミングが合わなかった為、個人で見学させていただきました。その際、水泉荘で働く職員の方々が明るく出迎えて下さり、職場の雰囲気の良さや施設を回っている時に見た入居者様の笑顔を見て「ここで働いてみたいなあ」という気持ちが高まりました。

現在は入職して1年が経ちますが、まだまだ慣れない事が多くあります。でも先輩方に助けていただきながら、1人でも自発的に動けるようになりました。

また、入居者様の身の回りのお手伝いはもちろん、入職してから社会人としてのマナー研修に参加できたことや職場の方々と交流を深めるために野球観戦に行ったり、職場の行事ですずめ踊りを踊ったりと、仕事だけでなくプライベートの部分でも私にとって刺激的で新鮮なことがばかりでした。この仕事をしていると楽しいこともたくさんありますが、時々悩むこともあります。そんな時は先輩方と食事に行かせて頂いたり、同期と買い物に出かけたりと気分転換をして「明日からまた頑張ろう!」と、気持ちを切り替えています。地元から離れて新しい環境で仕事することを選びましたが、今はこの選択をして良かったと思っています。これからも一つ一つ学びながら新鮮な気持ちで頑張っていきたいです。



出身地:秋田県湯沢市





私が福祉の仕事に就こうと思ったのは、母が介護の仕事をしていたからです。母の話や話を聞くなかで、人のために役立つ仕事をしたいと思うようになりました。その後もその思いは変わらず、4年制の福祉系大学に進学しました。大学で福祉、特に高齢者福祉について学び、社会福祉法人幸生会に入職しました。

幸生会を選んだ理由は、高齢・障害・児童の三部門の事業を行っていたからです。大学では高齢者福祉を中心に学んでいましたが、サークルの活動で障害児と一緒に遊ぶ活動を行っていました。そういったボランティアの活動経験もあって、障害や児童の福祉についても興味を持ち、三部門の施設を有する当法人を選びました。

現在、私の仕事はケアワーカーと生活相談員を兼務しています。生活相談員はご利用者様やご家族の方の相談を伺い、入所の段取りを組み契約を行う、介護職員や主治医等の他職種の連携を図るなど、業務の内容は多岐に亘ります。

また、兼務のケアワーカーは夜勤の業務を行っています。ケアワーカーの仕事は食事介助や排泄介助等の直接的な支援を行うことが中心です。入居者様のお世話をするなかで、笑顔や感謝の言葉をかけて頂くと、「この仕事をしていて良かったなあ」と心から感じるができます。ケアワーカーと生活相談員を兼務していることで、二つの立場から考えられる点が利点ではないかと思っています。今後も両方の立場から物事を考えられる職員でいたいと思います。福祉の仕事はこれからの時代にとっても大切な仕事の一つだと思います。また、人の笑顔があふれるやりがいのある仕事です。少しでも興味のある方や人の役に立つ仕事をしたいと考える方、やる気のある方、ぜひ一緒に幸生会を盛り上げていきましょう。



出身地:新潟県阿賀野市



出身地:宮城県気仙沼市



私は幸生会に入職して14年目になります。長年介護に携わってきましたが、3年前「仕事をしながら看護学校に通ってみたいか?」と声をかけて頂きました。最初はどうか戸惑い、悩みました。幼稚園と保育園の2人の子育てをしながら仕事をし、学業まで出来るのか。同じ職場でそのような経験をした人がいるわけでもなく、話を聞くこともできませんでした。

しかし、夫に背中を押され、まずは入試を受けてみないと入学できるかどうかも分からなかったので挑戦することに決めました。それからは運よく学校にも入学でき、様々な境遇の友達と出会い、学びと共に人間的にも成長出来たと思っています。

2年間の学校生活での仕事と学業の両立は簡単に出来るものではありませんでした。しかし、職場では学校を優先にして良いと応援して頂き、その中で仕事もさせて頂きました。又、子育てや家事においても夫や両親、周囲の方々の協力のもと行うことができました。

学校で学びながら職場の看護師の先輩方に相談できる、このような環境は私にとってとても心強いものでした。同僚からも応援してもらい、入居者様やそのご家族にまで声を掛けてもらい、忙しい毎日ではありましたが、今思うとこんなに応援して頂いて本当に感謝の気持ちで一杯になります。

4月から看護師として泉クラシックへ異動となり働いております。

高齢者施設での看護師の役割は自分で判断しなくてはいけない部分が多く、責任もあり新米看護師の私には力不足なところが多く不安もたくさんあります。しかし、幸生会の先輩看護師は「困った時はいつでも連絡していいよ」と言ってくれます。介護福祉士としての経験を生かし、施設での看護師として専門性を持って仕事出来る様、頑張りたいと思っています。幸生会は子育てもしやすく私のように学校に通いながらの勤務も可能な職場です。入職したころとは比べられない程の職員人数となり、働いている私も驚いております。こういう場所で皆さんも一緒に働いてみませんか。

